



空き缶3万個の巨大壁画

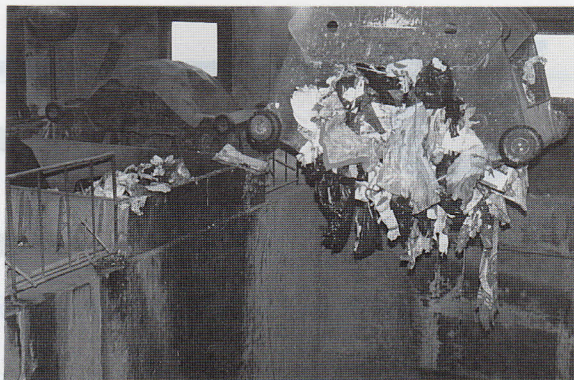
「思い出に残るものを」と 全校生徒が団結して制作

南犬飼中（荒井 茂校長、生徒730人）の中庭校舎の壁面に、縦12m、横18m、空き缶約3万個を使った巨大なモニュメント壁画が11月4日に完成。

「穴き缶を収集しクリーンな町づくりに参加するとともに、思い出に残るものを作ろう」と生徒会（鈴木美彦会長）が中心となって企画し、コンピュータ処理による図案を作成。半年以上にわたり全校生徒が団結して制作したもので、学園祭前日にやっと出来上がった時は生徒全員が拍手し、完成を祝いました。



生徒全員による作業風景



量しよう

家庭から地域から
ゴミ減量を考えよう

平成4年度 ゴミ処理経費実績

1 t 当りのごみ 処 理 経 費	可燃ごみ	約	20,900円
	不燃ごみ	約	71,500円

1 世 帯 か ら 排 出 さ れ る ご み 処 理 年 間 費 用	可燃ごみ	約	15,890円
	不燃ごみ	約	12,320円
	計	約	28,210円

壬生町のごみを収集 処理するのに1年間 で か か る 費 用	可燃ごみ	約	1億 9,030万円
	不燃ごみ	約	1億 4,750万円
	計	約	3億 3,780万円

減量化・資源化にご協力を

家庭からゴミステーションに出されたゴミは、清掃センターで収集し処理しています。この家庭から出るゴミの収集・運搬・処理には、ご覧のとおり多額の経費がかかっています。また、清掃センターではゴミ排出量の増加にともない、焼却作業を2交替で行っているのが現状です。

このような中で、一人ひとりのちよつとした心がけ一つでゴミが減量され、収集・処理が円滑に進み、しかも、清掃センターの機械設備などの事故が少なくなつて長持ちするばかりか、多額の処理経費が節約できるよつになります。

ぜひ、ゴミの減量化・資源化について真剣にお考えいただき、「きまり」や「約束ごと」を守り、ゴミを少なくするようご協力ください。

家庭用ゴミ処理器設置に補助金

町では、ゴミの減量化推進事業の一環として、「生ゴミ処理容器」および「家庭用ゴミ焼却器」の設置者に対し、補助制度を設けています。多くの各家庭でゴミ処理器を利用されて、ゴミの減量にご協力くださるようお願いいたします。

家庭用ゴミ処理器設置 事業補助金交付制度

- 一般家庭で「生ゴミ処理容器」および「家庭用ゴミ焼却器」を購入・設置した場合、本体購入価格の2分の1を補助します。ただし、限度額があります。
- 【限度額】（1器につき）
- ☆生ゴミ処理容器………4千円
- ☆家庭用ゴミ焼却器2万5千円

◆問合せ先

役場保健課 ☎(82)1234
清掃センター ☎(82)34224

資源ゴミ回収運動に

協力した団体に報償金

資源ゴミ回収運動に協力した団体に対し、報償金を交付しています。あなたの地区でも回収運動を始めてみませんか。

資源ゴミ回収

報償金交付制度

1回の資源ゴミ回収で500kg以上を共同集荷し、回収業者に売却した団体には、回収重量1kgにつき5円と、1回の回収で3千円の報償金を交付します。



ゴミを減

いつもきれいな
ゴミステーション



清掃センターに集まったゴミの山

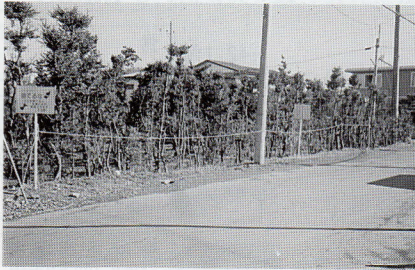


貴重な資源にリサイクル

ゴミステーション（ゴミ集積場所）の維持管理は、自治会の保健委員さんを中心にして、それを利用する皆さんが行うことになっていきます。

しかし、場所によっては収集日以外の日にゴミを出しているゴミステーションが見うけられます。ゴミは収集日の朝に出すよう皆さんで心がけて、常にきれいにしておきましょう。

現在は清掃されきれいに



以前はゴミが山積み



〔至宝町南自治会〕

以前、道路ぎわにゴミが山積みされ、近所の人や通行人に迷惑をかけていましたが、現在は集積所がいくつかに分散されきれいになりました。

〔国谷外道自治会〕

地域以外の人によるゴミの不法投棄などが後を立たず、常時ゴミがあつたので犬や猫、カラスなどに散らかされていましたが、自治会で鉄骨の集積所をつくり、現在ではきれいなゴミステーションとなっています。

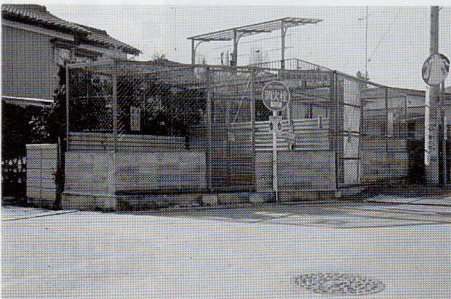


〔安塚南自治会〕

風やカラスなどからの散乱予防も兼ね、天井まで金網で囲った鍵付きのゴミステーションで、いつでも清掃されきれいになっています。

〔六美町南部第二自治会〕

手作りの集積所の中に、自治会で立てた看板のとおりゴミが整理・整頓されたコンパクトなゴミステーション。



公表します

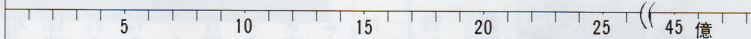
平成5年度上半期

町では、町民のみなさんに町の財政がどのように運営され、どのような状況にあるかを知っていただくため、毎年二回「財政状況の公表に関する条例」に基づき公表しています。

今回は、平成5年度上半期（平成5年4月から平成5年9月30日）までの財政状況についてお知らせします。

一般会計歳入歳出状況

歳入 科目と予算額



町税 47億4,183万7千円 56.8%

地方交付税 19億5,000万円 65.0%

町債 16億4,220万円 0%

国庫支出金 6億1,307万1千円 10.3% 予算現額115億3,980万9千円

繰入金 5億8,800万6千円 17.0%

県支出金 3億9,696万7千円 16.8%

繰越金 3億5,428万5千円 120.2%

地方譲与税 2億9,000万円 25.7%

諸収入 2億2,218万5千円 18.8%

使用料及び手数料 1億6,166万5千円 70.8%

自動車取得税交付金 1億5,000万円 31.7%

財産収入 1億3,610万1千円 64.8%

利子割交付金 1億1,900万円 44.3%

分担金及び負担金 1億1,849万円 44.1%

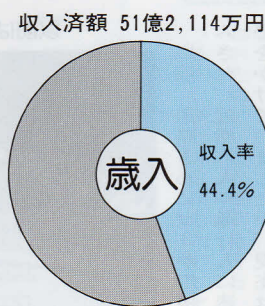
ゴルフ場利用税交付金 4,500万円 65.9%

交通安全対策特別交付金 1,000万円 56.4%

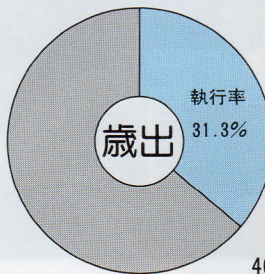
特別地方消費税交付金 100万円 0%

寄附金 2千円 0%

収入済額 51億2,114万円



支出済額 36億697万7千円



■ 予算現額
■ 上半期執行額
%は予算に対する執行率

0% 諸支出金 3千円

0% 予備費 2,000万円

42.1% 労働費 2,000万1千円

0% 災害復旧費 2,000万3千円

46.9% 議会費 1億5,330万5千円

14.7% 農林水産業費 4億8,102万2千円

48.4% 消防費 4億8,113万4千円

47.5% 公債費 6億7,332万円

28.5% 衛生費 9億5,922万1千円

41.6% 民生費 9億8,022万円

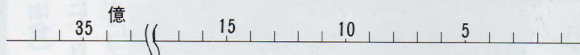
40.8% 総務費 13億1,673万7千円

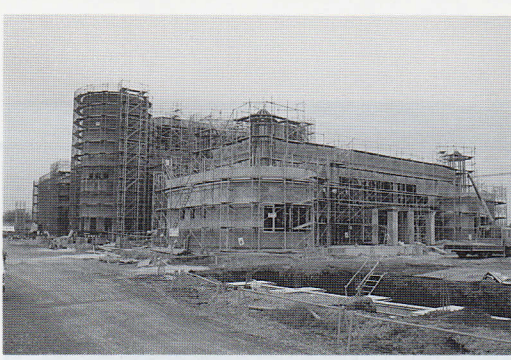
39.7% 商工費 13億8,600万6千円

31.8% 教育費 14億9,000万5千円

18.6% 土木費 35億5,883万2千円

歳出 科目と予算額





財政状況を

町有財産

土 地	113万7,674㎡
建 物	10万7,933㎡
出 資 金	4,956万4千円
基 金	42億3,733万7千円
有 価 証 券	44万円

町税の状況

町税については、調定額に対する収入割合をみると、前年同期の58.8%に対し2.0%下回りました。税は町政運営の大事な財源です。今後ともみなさんのより一層のご理解と積極的なご協力をお願いします。

平成5年9月30日現在
人口 39,592人
世帯 12,871世帯
*住民基本台帳より

科 目	予算現額 (千円)	収入済額 (千円)	収入率 %	町民一人当りの 負担額 (円)	1世帯当りの 負担額 (円)
町 民 税	2,392,362	1,061,966	44.4		
個 人	1,923,779	819,775	42.6	20,705	69,057
法 人	468,583	242,191	51.7		
固 定 資 産 税	1,831,232	1,287,956	70.3	32,531	108,496
軽 自 動 車 税	33,092	33,265	100.5	840	2,802
町 た ば こ 税	165,000	84,434	51.2	2,133	7,113
特別土地保有税	17,835	14,044	78.7		
都 市 計 画 税	302,316	209,897	69.4		
合 計	4,741,837	2,691,562	56.8		

*町民一人当り、一世帯当りの額は、収入済額に対する額です。

町債の状況

総額

122億8,304万円

普 通 会 計	48億4,146万円
公 共 下 水 道 事 業	51億4,004万円
上 水 道 事 業	23億154万2千円

特別会計の執行状況

会 計 名	予算額 千円	収入済額 千円	収入率 %	支出済額 千円	執行率 %
国民健康保険特別会計	1,935,897	859,377	44.4	698,903	36.1
公共下水道事業特別会計	1,443,122	306,354	21.2	558,963	38.7
奨学資金特別会計	1,286	1,166	90.7	1,155	89.8
老人保健事業特別会計	1,889,474	763,928	40.4	765,541	40.5

水道事業会計の執行状況

勘 定 区 分	入			出		
	予算額 千円	収入済額 千円	収入率 %	予算額 千円	支出済額 千円	執行率 %
収益的収支	514,933	271,635	52.8	448,274	147,655	32.9
資本的収支	174,600	3,502	2.0	374,603	65,315	17.4

り返って

主なできごと

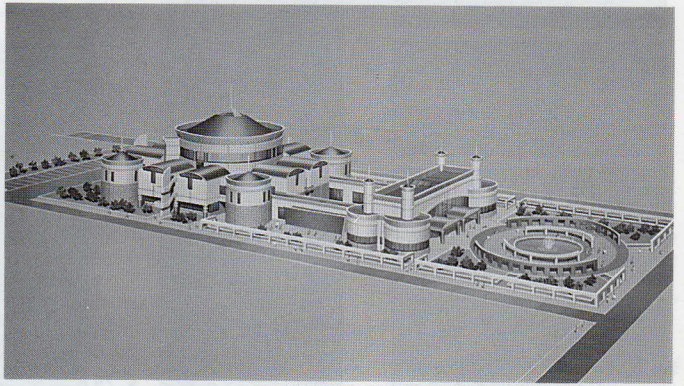
師走もあとわずか、今年もいろいろなことがありました。町の主なできごとを見ながら、この一年をふり返ってみましょう。



510人の門出を祝い成人式行われる (1月15日)



町内一斉に環境美化キャンペーン行われる(5月30日)



おもちゃ博物館建設の起工式行われる(2月5日)写真は完成予想図

主なできごと

1月

- 5日・賀詞交歓会
- 6日・101歳の植竹マサさんに特別敬老金贈る
- 15日・成人式
- 22日・第1回臨時議会

2月

- 5日・おもちゃ博物館(仮称)起工式
- 13日・公民館まつり(14日)
- 14日・消費生活展
- 資料館まつり
- 第6回町民綱引き大会

3月

- 9日・第2回定例議会(17日)

4月

- 1日・施設振興公社設立
- 国民文化祭準備室設置
- 第12回町消防団ポンプ操法大会
- 23日・第3回臨時議会

5月

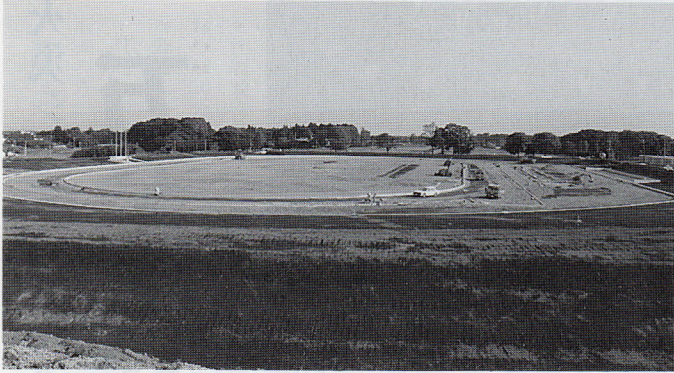
- 6日・第1回体育協会会長ゲートホール大会
- 9日・中央公民館合同開講式
- 30日・環境美化キャンペーン
- 資料館友の会発足

6月

- 15日・聖地公園墓園使用者募集
- 18日・安齋博さん県河川愛護連合会長表彰
- 21日・老人保健福祉計画策定委員会発足
- 23日・第4回定例議会(28日)
- 24日・安塚コミュニティ推進協 県道路愛護功労団体表彰

7月

- 1日・世界ガジェットレスリング大会に船越聡君、静信次郎君出場
- 3日・青少年健全育成町民のつどい
- 6日・無投票で農業委員23名決まる
- 7日・八坂祭(16日)
- 14日・おもちゃのまち駅自転車



運動公園陸上競技場建設工事進む

今年をふ

平成5年の



国民文化祭壬生町実行委員会が発足(11月18日)



人見城民展を開催(7月25日~8月29日)
その後、遺族から作品16点が町へ寄贈される

<p>23日・第3次海外行政視察団22 名北欧視察(10月2日)</p> <p>22日・敬老のつどい</p> <p>16日・人見城民の作品16点寄贈</p> <p>9日・石崎フジさん内閣総理大臣から百歳のお祝い</p> <p>8日・第5回定例議会(13日)</p> <p>2日・町長の高齢者訪問(6、7日)</p>	<p>9月</p> <p>1日・新AETミヤシロ ジュ ーリ アイコさん(米国) 着任</p> <p>25日・壬生東小学校プール竣工</p> <p>21日・ふるさとまつり(22日)</p> <p>17日・県議会土木委が現地調査 工事始まる</p> <p>12日・南犬飼中東町道拡幅改良</p> <p>6日・壬生東クラブ全日本ソフト ボール選手権大会出場</p> <p>5日・第28回県消防操法大会に 第2分団第5部、第3分 団第1部出場</p>	<p>8月</p> <p>25日・第4回特別展人見城民展 (8月29日)</p> <p>10日・衆議院議員総選挙(投票 率65・05%)</p>	<p>10月</p> <p>24日・第18回交通安全町民大会</p> <p>7日・老人スポーツ大会</p> <p>10日・第24回町民歩け歩け大会</p> <p>16日・生涯学習町民のつどい ・第15回壬生町文化祭 (11月7日)</p> <p>17日・第7回企画展 (11月23日)</p> <p>24日・健康ふくしまつり ・町民レクリエーション大会 25日・文部省事業指定(3か年) を受けて、エイズ教育推 進委員会発足</p>	<p>12月</p> <p>8日・第6回定例議会(17日)</p> <p>1日・町消防団通常点検</p> <p>18日・国民文化祭壬生町実行委 員会設立 公演</p> <p>14日・レニングラード管弦楽団</p> <p>10日・「町長さんこんにちわ」 4会場で実施(11日)</p> <p>3日・総合産業祭</p> <p>2日・自治功労者19名を表彰</p>
---	--	--	--	---

火災シーズンに向けて

万全の体制

町消防団が

通常点検

壬生町消防団（梁島安男団長）は、火災シーズンを控え、いざというときに団員が一丸となって正確かつ迅速な消火活動を行えるようにするため12月1日、通常点検を壬生小校庭で実施しました。

団員たちは、点検者の清水町長や来賓の見守る中、終始機敏な動作で服装点検、機械器具点検、ポンプ操法を繰り返し、続いて藤井河岸で放水点検をした後、壬生駅から壬生小まで分列行進を行いました。

その後、功績・功労の優れた団員や永年勤続者、優良消防団、防火ボスター入選者を表彰するとともに、退団者、消火協力者などに感謝状を贈りました。



キヒキヒと分列行進

機敏にポンプ操法を行う



表彰

県消防協会会長表彰

★功績章

第2分団分団長 石井 誠一

★勤続章

25年 副団長 中根 幸男
15年 第1分団副分団長

木村 功

県消防協会下都賀支部長表彰

★功績章

第3分団第2部団員

大関 幸正

第3分団第2部団員

朝日 広生

★功労章（第28回県消防操法大会出場選手）
○ポンプ自動車の部
〈第3分団第1部〉

主将 班長 中川 進

指揮者 部長 山ノ井浩貴

1番員 団員 倉持 文男

2番員 " 中川 均

3番員 " 小野崎末吉

4番員 " 赤羽根勇夫

補欠員 " 小野崎義人

○小型動力ポンプの部
〈第2分団第5部〉

主将 班長 福田 敏雄

指揮者 部長 鯉沼 信夫

1番員 団員 鈴木 武彦

2番員 " 栗原 隆

3番員 " 田辺 和彦

補欠員 " 梁島 恵一

★勤続章 5年
〈第1分団〉

第4部部長 星野 国典

第2部団員 清水 寿志

第4部 " 佐藤 広美

" " 武関 一成

" " 橋本 正俊

" " 橋本 喜夫

第5部 " 高橋 清司

" " 戸崎 良則

〈第2分団〉
第3部部長 高山 嗣男

第3部班長 赤塚 力男

" 団員 木所 利夫

" " 奈良 勇

" " 神永 幸男

第5部部長 鯉沼 信夫

〈第3分団〉

第2部部長 糸川 和俊

" 団員 織田 利広

第3部部長 斉藤 博志

" 班長 瓦井 宏幸

第4部団員 糸川 徳夫

" " 清野 輝夫

第5部 " 大城 一三

" " 浜田 寛

町長表彰

★功績章

第1分団副分団長 木村 功

第3分団第2部団員 大関 幸正

朝日 広生

★勤続章

25年 副団長 中根 幸男

15年 第1分団副分団長 木村 功

5年（県消防協会下賀支部長表彰と同じ）
★優良部および努力賞の部

〔優良部〕

○消防ポンプ自動車の部 第3分団第1部



自治会連合会と町政懇談会

「町長さんこんにちは」開かれる

自治会連合会(石川昭三会長)と清水町長との町政懇談会「町長さんこんにちは」が11月10日、11日の両日、稲葉地区公民館、南犬飼地区公民館、中央公民館、保健福祉センターの4会場で開かれました。

町からは清水町長ほか、福島

助役・毛塚収入役、榎本教育長、4部長(総務・民生・経済・建設)、教育次長が出席し、各自町会長さんから出された45件の意見・要望・質問などに対して一つひとつ丁寧に回答し、町政発展について、膝を交えて活発な意見交換が行われました。

町職員募集

職種及び募集人員

◇保母……………2名

・保母の資格を有する方または平成6年3月末日までに保母の資格を取得する見込みの方で、昭和43年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた方。

・住居要件として通勤時間がおむね50分以内の方。

◇公仕(小・中学校)……………2名

・町内に居住する男性で、50歳未満の方

・学歴は問いません。

第2分団第1部
第3分団第4部
第2分団第5部

【努力賞の部】

○消防ポンプ自動車の部
第3分団第5部

○小型動力ポンプ積載車の部
第1分団第3部

★防火ポスター入選者

【優秀賞】

小学1年(東小) 高山 貴旭
(北小) 松嶋 伸高

小学2年(北小) 臼井 瑛憲
(安小) 矢菅奈津美

小学3年(壬小) 玉田 知世
(〃) 前澤 信忠

小学4年(藤小) 田所 朋子
(羽小) 木野内恵美

小学5年(壬小) 小野 文恵
(安小) 中川 悦輝

小学6年(壬小) 木村真悠子
(東小) 安野 朋美

(安小) 鈴木 秀幸

(陸小) 鈴木 玲子

(睦小) 鈴木 玲子

(安小) 鈴木 秀幸

感謝状贈呈



〔平成4年度退団者〕

元副団長 中川 勝明

ほか47名

〔防火貯水槽土地提供者〕

藤井地区 荒川 政雄

〃 壬生町農協

稲葉地区 阿部 鉄雄

〔消火協力者〕

田中 邦夫(幸町三丁目)

田中タイ子(幸町三丁目)

新井 聖一(石橋町)

芝田 道枝(幸町三丁目)

船越多喜知(仲通町)

船越 重吉(仲通町)

濱野千恵子(安塚一)

大場 祐夫(城南)

桑川 利三(助谷)

桑川 君江(助谷)

永岡利三郎(宇都宮市)

細井キクエ(助谷)

細井 久子(助谷)

申込み方法

申込書に履歴書を添えて役場総務課に提出してください。

※申込書は平成6年1月10日から総務課で配布します。

問合せ先

役場総務部総務課

☎(82)1234

採用予定日

平成6年4月1日

試験日時及び内容

・平成6年2月10日(木)
・作文および面接ほか

1月28日(金)まで。

・午前8時30分から午後5時まで。
(土・日曜日、休日は除く)

受付期間

平成6年1月10日(月)から

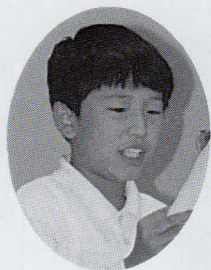
交通安全作文

壬生町交通安全市民大会（9月24日）の席上、交通安全作文最優秀作品として発表された幸村友子さん（陸小3年）と阿部 徹君（安塚小6年）の作文を紹介しています。

2回目の今回は、阿部 徹君の作品です。

交通安全が第一

安塚小学校6年 阿部 徹



に電気が走ったようにピクンとなり、いやな気分になる。それは、ぼくも、交通事故にあったことがあるからだ。今でもはっきり覚えているが、それは幼稚園の年長の時だった。

テレビや新聞のニュースで、毎年一万人以上の人がなくなっていると伝えている。一万人といえば、壬生町の人口の四分の一で、四人に一人がみんな死んでしまうことになる。今でも世界各地で戦争があって、何人もの人々が死んでいるらしいが、本当に交通事故も戦争の一つだと思う。

ぼくは、交通事故のニュースがきらいだ。聞くたびに、背中

青空が見えた。ぼくは、まちがって転んでしまったのかと思いきや、手足が病いのをがまんして立とうとしたら、そのとたん「たらく」と、赤い物が小川みたいに流れてきました。それは、手と足からでした。起き上がろうとすると、ズシッと体が重いのです。まるで、子どもが四人ぐらい乗っているようでした。

ぼくはびっくりして、大きな声で泣き出しました。父も母もびっくりしてとび出してきて、ぼくを助け上げてくれました。母は急いで一九番に電話しましたが、場所がよく分からないので、救急車に来てもらえませんでした。し方がないので、父はぼくをだき上げ、ぶつけた人の車に乗って病院に急ぎました。車の中で、ぼくは、もう死んじやうのかなと思ったりして、周りが真っ暗になった感じで地ごくへ行った夢をみていました。

五分ぐらいで病院に着き、すぐに手当てをしてもらいました。医者の手当てが終わってみると、右手だけけががありません。でも、左手、右足、左足は包帯だらけでまるで、ミイラ男になっちゃったようでした。

幸いにもけがが軽くてすみ、すぐに元気に遊べるようになりましたが、心のきずはなかなか治りません。事故のニュースを聞くたびに、心臓がドキンとなつて、胸がしめつけられるような感じになるのです。ぼくにとつて、この気持ちは一生続くことだと思えます。でも、そのおかげで、今は交通安全に気を付けて生活しています。絶対、とび出しなどはしません。自転車に乗っても、あまりスピードをだしたりしません。

事故から六年たった今、ぼくに反省してみることは、なぜとび出してしまったのだろうかと言ふことです。小さかったのでも、責任です。ぼくは、これから、周りのことに十分気をつけて、もう二度と交通事故にあわないようにしたいです。

藤井橋架け換え工事のため迂回路通行になります

期間

平成5年12月3日から
平成7年12月31日まで



県道笹原・壬生線の藤井橋架け換え工事のため、現藤井橋の南側に設置した迂回路（仮橋）通行となります。歩行者と自転車利用者は、引き続き側道橋を利用できます。



国民文化祭

実行委員会が発足

―町民の力を一つにして成功させよう―

国民文化祭

『国際おもちゃフェスティバル』

平成7年10月27日～11月4日

現在、国谷明城に建設中のおもちゃ博物館（仮称）と隣接の運動公園（仮称）を会場にして、平成7年の秋に開催される第10回国文化祭「国際おもちゃフェスティバル」の開催に向け11



発足式であいさつする清水町長

月18日、中央公民館で国民文化祭壬生町実行委員会設立会および第1回同実行委員会が開かれました。

国民文化祭は「文化の国体」といわれるように、地域文化を個人、グループなどが発表をとおして、全国の人たちと交流を図る目的で昭和61年、東京都をかわきりに各県持ち回りで開催されています。今年も岩手県で開かれ、60万人以上が訪れました。栃木県では平成7年に開催が決定しており、12市10町で33事業が行われます。

本町では、全国的にも珍しいおもちゃ博物館が平成7年4月に開館を予定していることから、同博物館をメイン会場にして、「国際おもちゃフェスティバル」

を開くことになっていました。

発足式には、町内各種団体代表をはじめ、県及び町議会議員、町執行部など約90人が出席しました。清水町長は「国際おもちゃフェスティバルは、全国から来る子どもたちからお年寄りまで遊びを提供するもので、県のイメージアップとともに町のイメージアップにもつながります。町の力を一つにして、各界各層の方々に参加いただいて、ご協力をお願いします」とあいさつしました。

また、実行委員会では本年度の事業計画として、町民を対象にした広報活動、実行委員会事務局の整備、開催県の市町の状況調査を進めていくことが決められました。

馬場自治会

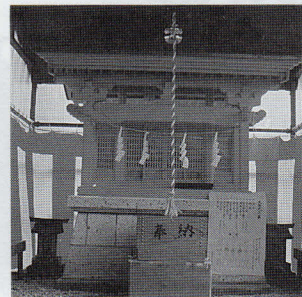
稲荷神社新築

長年の念願を実現

藤井馬場の稲荷神社新築記念のお祝いが11月12日、氏子総代や世話人、村人が出席して同境内で行われました。

この稲荷様は、藁ほうでん（わらで作った祠）の形態をとっていました。雄琴神社の黒川宮司によると、「藁ほうでんは社殿を持たないで祭られ、その時ごとに神様に降りていただいて祭りを行うという神社の一番古い形態で、馬場の村ができたころからあるのでは」といいます。

古い書き付けもなく分るのは明治21年からですが、昔から「藤森稲荷」とか「格式がある」と



言い伝えられてきました。

稲荷神社の建設の話は30年も前からありましたが、今年の元旦に不動様の初詣の席で合意し、1月15日の自治会会議で決定。その後、氏子総代、世話人の7人が中心となって取り組んできたものです。

総合産業祭

1万人が訪れ

多彩な催し楽しむ



町の商・工・農が一同に集まった総合産業祭が11月3日、総合運動場で開かれ、主婦や家族連れなど約1万人が訪れました。会場では、農産物の即売会や各商店会・メーカーの出店、ミニSL、ミニ動物園、ます・うなぎつかみ大会、ミニレストラン、写真コンテストなど、工夫を凝らした催しが行われました。

い 広 場

お 達 者
カ ッ プ ル



⑤ 藤井前宿坪

石 嶋 龍 大 郎 さん (75) 夫 妻
登 代 子 さん (73)

龍太郎さんは昔からいろいろな集めごとが好きで、今でも、毎月郵便局からくる特殊切手発

行の案内書を見て集めています。現在、楽しみでワープロを打つのが日課で、月曜、金曜の12時



青 春 ス ケ ッ チ ③ 1



ス キー が 楽 し み

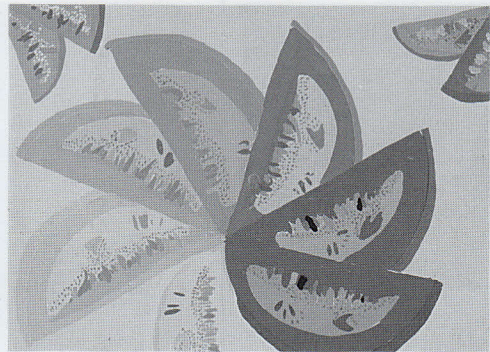
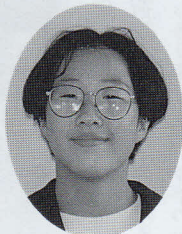
壬 生 下 馬 木 増 田 み さ 子 さ ん

「今、エッセー集に凝ってるんです。毎週のように、図書館に通っています」というみさ子さん。読書のほかにスキーに夢中になっている彼女「昨シーズンは、休みのたびにスキー場に出掛けていました。今年も楽しみにしています」という。これからやってみたい事は「愛車に乗って北海道旅行することです」と笑顔で話してくれました。

壬 生 中 一 年
高 田 有 香
有 前 望 途

壬 生 中 学 校 1 年

高 田 有 香

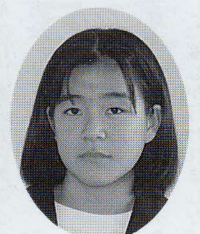


私 の 作 品

「 グ ラ デー シ ョ ン 」

壬 生 中 学 校 1 年

八 木 清 美





和太鼓で大いに暴れる！

壬生寺保育園の特別保育事業

壬生寺保育園では、今年度から特別保育事業の一環として、和太鼓を取り入れた保育を実施しています。

この事業は、郷土文化の伝承を旨とするもので、現在、園児たちは、毎日元気いっぱい太鼓をたたく練習に励んでいます。練習の成果は、運動会や幼児音体フェスティバルなどでみなさんに披露しています。

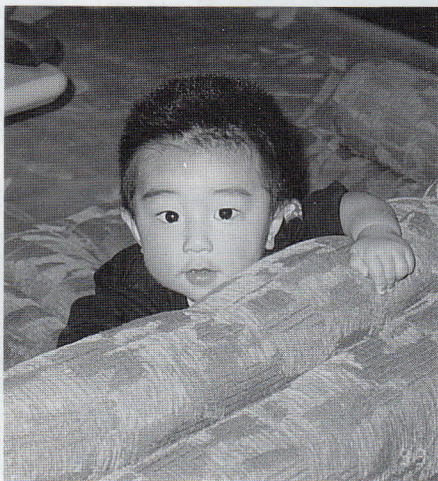
ふれあ

からやる番組のビデオを撮り、それをワープロに入れていきます。料理や体のこと、葉のことなどいろいろな分野にまたがり、とても参考になるそうです。また、自治会の会計を手伝っています。それがはりあいになっていきます。栃木市から引越して来て21年目になりますが、昭和30年にはいていた物（ヘップ（サンダル））がやはり、翌年、栃木市ではきもの製造業を始めました。戦中、龍太郎さんは東京神田の東部防空部隊の照空隊、独立

分隊の分隊長でした。登代子さんも東京に住んでいて、B29の焼夷弾は「パラパラとオルガンを弾いたように賑やかに落ちてくる」といいます。東京空襲で登代子さんの家も焼け出され、洋裁学校を開こうという夢も戦争で180度転換。その後、登代子さんは栃木市に疎開して昭和21年に龍太郎さんと結婚、3人のお子さんを育てられました。現在、家事の合間に「近所の人たちから頼まれた裾上げやブラウスを縫ったりしている毎日」と話していました。

チビっ子アルバム

りゅうのすけ
隆之介ちゃん（8か月・長男）



（父）大 嶋 友 宏さん
（母）" 順 子さん
（上田）

お母さんから一言

誰からも好かれるカッコイイ子になってね。

雅宏ちゃん（1歳・長男）

（父）荒 川 雅 彦さん
（母）" さ よさん
（東下台）

お母さんからの一言

健康で素直な子に育ってほしい！





上表町

資源ゴミ回収

全戸の協力で
毎回、3.5トンを回収

上表町自治会(出井清自治会長)は、保健委員の池田あい子さんを筆頭に育成会、自治会役員が協力し、年6回、2カ月に1回の間隔で、第4日曜日を資源ゴミ回収の日として廃品回収を行っています。

回収日の朝は、各家の道路前に置かれたダンボールや空缶、新聞紙などを役員が7時から9時にかけて、車5台に分乗して

1軒づつ集めます。それを自治会長宅で分別し、回収業者に引き渡しています。

同自治会の資源ゴミ回収は平成4年から始められ、今年2年目になりますが、毎回、自治会全戸の協力により平均3・5トンも集まっています。出井自治会長は「昨年は収益金の一部を育成会に補助したほか、御興のハッピーを作っていたいへんよろこ

町民ゴルフ大会

柏崎さん(男子)が優勝
安楽さん(女子)

第4回町民ゴルフ大会が11月22日、宮の森カントリー倶楽部で開かれ、町内のゴルフ愛好家 122人が参加しました。

成績

【男子の部】

	優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
名前	柏崎 寿男	相田 喜久夫	酒井 正雄	斎藤 裕一	中島 康夫	橋本 秀次	阿部 喜行	小林 俊雄	安本 登志男	栗原 節
ネット	64.8	67.8	68.6	69.2	70.2	70.2	70.6	70.8	71.4	71.4
グロス	(84)	(75)	(95)	(75)	(87)	(87)	(97)	(78)	(81)	(93)

【女子の部】

優勝	安楽 敬子	72.4	(94)
準優勝	鈴木 啓子	72.8	(104)
3位	大越 カズ子	75.2	(104)

【男子グロスの部】

優勝	柏崎 一之	74
準優勝	斎藤 裕一	75
3位	相田 喜久夫	75
4位	吉岡 正人	76
5位	吉田 進	77

【女子グロスの部】

優勝	安楽 敬子	94
準優勝	鈴木 啓子	104
3位	大越 カズ子	104



分別する役員のみなさん

ばれたので、これからもそういうものに使うようにしたい」と話していました。

幸町四長幸会チームが優勝

第5回協会会長杯ゲートボール大会

町ゲートボール協会(高山安市会長)主催の第5回協会会長杯争奪ゲートボール大会が11月12日、町総合運動場で、町内36チームが参加して行われました。

この日は、あいにくの小雨模様ですが、天気にかかわらず、各コートに白熱した熱戦が展開され、幸町四丁目長幸会チームがみごと栄冠を手に入れました。

大会成績

優勝 幸町四長幸会
準優勝 国谷第三

優勝の幸町四長幸会チーム



三位 城内 青心

県学校保健向上に尽力

松本幸三さんが文部大臣表彰



松本 幸三氏

11月11日、大分県で開かれた全国学校保健大会の席上、松本幸三さん（栄町、開業医）が、文部大臣表彰（学校保健）を受けられました。

松本さんは、昭和47年から20年にわたり壬生小学校の学校医及び町医師会長を務めるほか、

県医師会常任理事（昭和63年）

として学校保健を担当し、県医師会学校委員会委員長および県連合学校保健会長、県学校保健学会長の立場で、県教育委員会、文部省、日本医師会の指導と協力を得ながら、県下の全学校医とともに学校保健の向上・発展に努めてこられました。

また、県公立学校職員健康対策委員会委員長として県教職員の健康管理にも尽力されました。これらの業績が認められ、今回の表彰となったものです。

県知事から感謝状

国民年金功労者表彰



荒川佳子さん

国民年金制度推進月間事業の一環として国民年金功労者表彰式が11月11日、県公館で行われ、席上、荒川佳子さん（緑町一丁目）が県知事から感謝状を受けられました。

荒川さんは、昭和53年より国民年金委員として年金制度の普及・推進に尽力されました。この功績が認められ、今回の表彰となったものです。

なお、荒川さんは12月9日付で栃木県国民年金基金推進員に委嘱されました。

表彰を受けた篠原さん（右）と玉田さん



統計功労で受賞

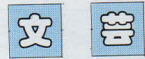
調査員 篠原富太郎さん

玉田 洋子さん

11月19日、栃木県総合文化センターで開催された第31回栃木

県統計大会の席上、永年にわたり統計調査員として功績のあった篠原富太郎さん（六美町南部第二）と玉田洋子さん（城内）の2名が、県統計協会名誉会長表彰を受けられました。

この大会は、今日の急速な国際化・高齢化・情報化社会に対応するため、正確な現状把握と的確な将来予測のための指標を提供する統計調査の果たす役割を認識し、内外にアピールすることを目的として開催されました。



文化協会文芸部選

短歌

お札お札出る自販機のあり拝観の寺に信仰心のうするる

鈴木佳世子

立ちどまりふと気がつけば風采のあがらぬ男窓にうつれり

黒尾 壮

外孫の幼き電話ちぐはぐに交せどわれの心足らえり

梁島福重郎

地球崩るる予言むげには笑えざり天災地変つづくこの年

糸川 正敏

俳句

新米や三代使いし五合五合榎

奥村 トシ

赤い羽根むかし病みたる胸にさす

佐藤 淑子

丸腰の案山子かかしや平成大凶作

伊沢 克明

軽きかた榎え掌に長雨の秋深む

山田 良次



県家庭婦人バレー選手権大会

すばる3位入賞

第17回栃木県家庭婦人バレーボール選手権大会（栃木県バレーボール協会、下野新聞社共催）が11月14日・23日の2日間、清原体育館を主会場にA、B、C各ブロックに合計11チームが参加し熱戦が展開されました。本町からは、Bブロックに南犬飼クラブ（高橋光子監督）、Cブロックにすばるチーム（寺

崎春江監督）が出場しました。

南犬飼クラブは、惜敗し上位入賞を逃しましたが、すばるチームは、1・2回戦、準々決勝と持てる力をいかんなく発揮、勝ち進み準決勝戦で北クラブ（上都賀）と対戦、白熱したシーズンゲームのすえ、惜しくもセツトカウント2-0で敗れましたが見事3位に入賞しました。

い、楽しい1日を過ごしました。大会の成績は次のとおりです。

- Aブロック優勝 羽生田台宿
- Bブロック優勝 下表町
- Cブロック優勝 城 南

年末の

交通事故防止

年末は人の行き来が多くなり、交通渋滞や雑踏が予想されます。先を急ぐあまり、ドライバースピードの出し過ぎや無理な追い越しで、歩行者は信号無視や無理な横断で思わぬ事故を招きやすくなります。



おくやみ

町内で百歳以上の3人の方がこの秋、逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

（10月9日）

落合シゲさん（羽生田西部、明治25年12月15日生まれ）享年百歳。



（10月23日）

植竹マサさん（西高野、明治25年1月6日生まれ）享年百一歳。



県3位入賞のすばるチームのみなさん

第1回町民ソフトボールレクリエーション大会

親睦を深め

楽しい1日

町ソフトボール協会（塩沢弘会長）主催の第1回町民ソフトボール・レクリエーション大会が秋晴れの11月7日、町総合運動場で開かれました。

自治会や職域から10チームが参加。男女混合チームの対戦とあって、ご夫婦での参加や子どもたちの大きな声援もあり、レクリエーションの名にふさわし

寄付

（○数字は寄付回数）

- 金1万円⑤ 木目込人形教室様
- 金1万円① 萩原 吉夫様
- 金2万3千円① ボランティアグループ「ユーカー」様
- 金4千702円④ 壬生町民生委員協議会様

者親の会様

- 金5千円⑥ 壬生町心身障害児
- 金2千25円⑤ 糸川 ひさ様
- 金5千円⑪ 壬生町生活改善クラブ協議会様
- 金3千円⑥ ひまわり会様
- 金8千640円② 睦地区コミ
- ユニティ推進協議会遊学塾様
- 金5千円②文化協会手工芸部様

まちのうごき

12月1日現在

総人口	40,074人 (37)
男	19,780人 (24)
女	20,294人 (13)
世帯数	12,127世帯 (32)

1月の納税等

- 町県民税（4期）
- 国民年金（10期）

（納期限1月31日）
納期限間際には、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

（11月20日）石崎フジさん（下表町、明治26年9月19日生まれ）享年百歳。

